

## 貸借対照表

令和 3年 3月31日 現在

ペットメディカルサポート株式会社

(単位: 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金及び預貯金	360,570	保険契約準備金	359,679
現金	148	支払備金	93,442
預貯金	360,422	責任準備金	266,237
有形固定資産	16,639	普通責任準備金	196,323
建物	14,263	異常危険準備金	69,913
その他の有形固定資産	2,376	代理店借	22,747
無形固定資産	24,913	再保険借	927,626
ソフトウェア	18,538	その他負債	135,123
その他の無形固定資産	6,374	未払法人税等	22,563
再保険貸	864,793	未払金	59,407
その他の資産	262,844	預り金	4,526
未収金	105	仮受金	48,625
未収保険料	174,682	賞与引当金	10,000
前払費用	5,921	負債の部合計	1,455,176
預託金	82,006	純資産の部	
その他の資産	128	資本金	332,750
繰延税金資産	31,954	資本剰余金	65,750
供託金	24,000	資本準備金	65,750
		利益剰余金	△267,960
		その他利益剰余金	△267,960
		繰越利益剰余金	△267,960
		株主資本合計	130,539
		純資産の部合計	130,539
資産の部合計	1,585,716	負債及び純資産の部合計	1,585,716

貸借対照表に関する注記

1. 会計方針に関する事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。ただし、建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については定額法によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(2) 賞与引当金の計上基準

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 会計上の見積りについて

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性のあるものは、次のとおりです。

(1) 繰延税金資産

① 当事業年度に係る計算書類に計上した額 31,954千円

② 見積内容に関する情報

繰延税金資産は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積もっています。また、将来の不確実な経済条件の変動によって影響を受ける可能性があり、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

3. 表示方法の変更

(1) 「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準31号 2020年3月31日)を当会計年度の年度末に係る計算書類から適用し、計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

(2) 前事業年度において「その他の資産」に含めておりました、「預託金」は、金額の重要性が増したため、当事業年度より独立掲記しております。

4. 金融商品の状況に関する事項及び金融商品の時価等に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、少額短期保険業を行っており、資産の運用においては運用資金の性格を考慮し、「安全性」「収益性」「流動性」「公共性」を総合的に判断し、社会・公共の福祉に資するような資産運用を目指しております。おもな運用手段は、預貯金等であり、市場関連リスクや信用リスクに晒されております。リスク管理を含めた資産運用状況については、取締役会へ月次で報告しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預貯金	360,570	360,570	-
(2)未収保険料	174,682	174,682	-
合計	535,252	535,252	-

(注)1. 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預貯金

現金及び預貯金については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未収保険料

未収保険料については、短期間で決済されるため時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

5. 有形固定資産の減価償却累計額は5,749千円です。

6. 繰延税金資産の発生の主な原因は、責任準備金です。

7. 支払備金の内訳

普通支払備金	80,709千円
既発生未報告損害	853,711千円
計	934,420千円
同上に係る出再支払備金	840,978千円
差引	93,442千円

8. 責任準備金の内訳

普通責任準備金の内訳

普通責任準備金	1,211,715千円
同上に係る出再普通責任準備金	1,015,392千円
差引	196,323千円

異常危険準備金

異常危険準備金	425,886千円
同上に係る出再異常危険準備金	355,973千円
差引	69,913千円

9. 1株当たりの純資産額は、5,488円29銭です。

## 損益計算書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

ペットメディカルサポート株式会社

(単位: 千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	7,151,508
保 険 料 等 収 入	7,151,462
保 険 料	3,828,667
再 保 険 収 入	3,322,795
回 収 再 保 険 金	1,745,088
再 保 険 手 数 料	1,561,500
再 保 険 返 戻 金	16,206
資 産 運 用 収 益	2
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	2
そ の 他 経 常 収 益	43
経 常 費 用	7,122,878
保 険 金 等 支 払 金	5,166,131
保 険 金 等	1,702,323
解 約 返 戻 金 等	18,006
再 保 険 料	3,445,800
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	179,604
支 払 備 金 繰 入 額	28,706
責 任 準 備 金 繰 入 額	150,897
事 業 費	1,777,139
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	1,759,572
税 金	9,784
減 価 償 却 費	7,782
そ の 他 経 常 費 用	3
経 常 利 益	28,629
特 別 損 失	12,284
固 定 資 産 除 却 損	6,384
そ の 他 特 別 損 失	5,900
税 引 前 当 期 純 利 益	16,344
法 人 税 及 び 住 民 税	21,731
法 人 税 等 調 整 額	△20,339
法 人 税 等 合 計	1,391
当 期 純 利 益	14,953

損益計算書に関する注記

1. 主な収益及び費用に関する内訳

(1) 正味収入保険料

保険料	3,828,667 千円
再保険返戻金	16,206 千円
計	3,844,873 千円
出再保険料	3,445,800 千円
解約返戻金等	18,006 千円
差引	381,066 千円

(2) 正味支払保険金

保険金等	1,702,323 千円
回収再保険金	1,745,088 千円
差引	△ 42,764 千円

2. 支払備金繰入額

支払備金繰入額	287,066 千円
出再支払備金繰入額	258,360 千円
差引	28,706 千円

3. 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)

普通責任準備金繰入額

普通責任準備金繰入額	638,786 千円
出再普通責任準備金繰入額	499,756 千円
差引	139,030 千円

異常危険準備金繰入額

異常危険準備金繰入額	114,754 千円
出再異常危険準備金繰入額	102,887 千円
差引	11,866 千円

4. 利息及び配当金収入

資産運用収益は全て預貯金利息です。

5. 1株当たり情報

1株当たり当期純利益 1,988円49銭

6. 関連当事者との取引は以下の通りです。

属性	会社等の名称	議決権の所有 (被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員が議決権の 過半数を有して いる会社	株式会社 ピクシー	-	業務委託、出向	広告業務の委託 等	749,053	未払金	12,884
						代理店借	11,686
				出向料の受取	4,226	未収金	105

取引条件及び取引条件の決定方針等

当社と関連を有しない他の事業者との条件を参考に交渉の上、決定しております。